

第5回
八潮市庁舎建設基本計画策定審議会
説明資料

平成30年12月27日

八潮市企画財政部
アセットマネジメント推進課

審議会開催スケジュール

回	議題・報告事項（案）
第1回（7月5日）	①諮問 ②基本構想内容の確認 ③審議会開催スケジュール ④複合・集約化方針（素案）
第2回（8月20日）	《複合・集約化方針の決定を受けて》 ①複合化・集約化を検討する公共施設機能 ②新庁舎建設候補地の検討
第3回（10月26日）	①求められる機能
第4回（11月29日）	①新庁舎の規模 ②配置計画 ③構造計画 ④概算事業費
第5回（12月27日）	①建築デザイン計画 ②事業手法 ③財源計画 ④事業スケジュール ⑤基本計画素案のまとめ （審議会への諮問対象部分） ⑥答申案
第6回（1月15日）	①基本計画素案の確認 ②答申

●答申後、基本計画策定までのスケジュール(予定)

時期	内容
1月18日	パブリックコメント（意見募集）受付開始
1月22～26日	市民説明会（5回開催）
1月下旬	【市議会（公共施設整備等調査特別委員会）】 基本計画素案及び市民説明会の報告
2月18日	パブリックコメント（意見募集）受付終了
2月下旬	【市】パブリックコメント結果の確認 基本計画案まとめ
2月下旬	【市議会（公共施設整備等調査特別委員会）】 市からパブリックコメント結果の報告 基本計画案の承認
3月下旬	【市】（議会からの意見を踏まえ）基本計画の策定

《前回(第4回)審議会のふいかえい》

■配置計画について

質問／意見	対応
<p>P.22～23 動線計画について、西側道路を歩行者空間とするかどうか検討するということだが、他の建物の計画に大きく影響するため、はっきりさせておくべき。ここが広場としてそれぞれの施設とつながるように計画できるのであれば有効的。交通量の多い東側道路側に駐車場を配置すれば歩車分離も上手く出来る。分散したバス停をバスターミナルとしてまとめることも検討した方が良いと思う。</p>	<p>ご意見として承る。</p>
<p>P.18 建設場所の図は、まちの中でのシビックセンターという位置づけを説明する広域の図とした方が良い。</p> <p>市道 2033 号線は文言のみ記載されているが、図にも記載しないと分かりにくい。</p> <p>P.25 断面構成と記載されているが、平面も含めて立体的な空間構成の話になってくるので「機能配置計画」とした方が良い。</p> <p>ICT 技術の進展により将来必要面積が減ってくることも考えられる。そうなった場合にもランニングコストを抑えながら使うことができるように考えるべきである。断面構成を具体的に書くより、何をやってほしいか・課題だと思っているかを記載し、提案を受けようとした方が様々な案が出てくる。例えば議場は利用頻度を考えると一番上にあるのではなく市民協働やメセナとの連携を考えた方が良い。</p>	<p>修正方法を事務局で検討する。</p>
<p>断面構成を明記しないのは賛成。断面構成の図では一棟にまとめるイメージで描かれているが、分棟させてそれぞれの機能とボリュームに合った構造にすることも有効だと思う。そうすることで、将来的な変化にも対応しやすくなる。配置計画を含めて保健センターなど機能毎の動線に踏み込んで考えた方が良い。</p>	<p>現在は一般的な断面構成を記載している。</p> <p>修正方法を事務局で検討する。</p>
<p>長期保存する資料の場所はどのように考えているか。地下空間については全く使用しないのか。</p>	<p>地盤状況や建設費を考慮して、現在は地下空間の利用を考えていない。</p> <p>現在、長期保存資料は東側棟や資料館で管理している。書庫や倉庫の面積は確保していく。</p>
<p>議会の位置についても、議会の意向はあると思うが合理性を考慮して再考すべきと思う。メセナを利用することも可能ではないか。フレキシブルに考えるべき対象である。</p>	<p>「求められる機能」で閉会中の議場は多目的に活用することを検討する旨、記載している。</p>
<p>市民は下層階利用が多いような書き方だが、他区では一番上に食事スペースをつくりどの階も市民が自由に使えるようにしている。市民が下層階のみを利用するような書き方ではない方が良い。</p>	<p>修正方法を事務局で検討する。</p>

質問／意見	対応
P.21 の図の矢印部分の意味が分かりにくい。プロポーザルの際に設計者が深読みする。	庁舎の建替えだけでなく地域の賑わいづくりを考えていきたいと考えているため、3施設のつながりを意識していただくためにこのような記載にしている。

■構造計画について

質問／意見	対応
構造形式の表に耐用年数やメンテナンス費用の比較項目を追加した方が良い。構造は庁舎全体を同じにしないで、防災拠点となる部分とその他の部分を分け、免震構造などは必要最低限に留める計画としても良いと思う。	部分的に異なる構造とすることも含めて、今後設計で検討する。
中層の免震構造で鉄骨造というのはあまりないと思う。鉄骨造なら制震、RC造なら免震というように組み合わせで変わることが考えられる。構造種別を限定する考えはなく、免震も候補に含まれているということが分かる記載に留めてはどうか。	
構造計画については、あまり明記しない方がいい。「防災拠点にふさわしい構造とする」など。免震と制震を組み合わせる場合もある。鉄骨造のコストもあがっており、大阪万博の影響でさらに高騰することも考えられる。	
耐火建築物として木造庁舎の事例も出てきているため、構造種別に木造も追記してはどうか。	

■新庁舎の規模、概算事業費について

質問／意見	対応
駐輪場の必要台数のところに、補助具の普及も考慮し移動機器の大型化にも配慮すると記載していただきたい。庁舎の利用者が増えた場合に、この台数でいいのか。	将来的な人口・職員数を考えると必要台数が減る可能性もあり、あくまで現在の台数に対応するものとしている。
イニシャルコストを抑える計画を検討すべきである。たとえば、耐震的に問題なく、その配置でも影響の少ない一部の庁舎は使い続けることも検討しても良いのではないか。	検討済みであり、全ての棟を建て替えていくことで考えていくことは決定しているのご理解していただきたい。
事業費は周辺整備費についても言及した方が良い。	記載について事務局で検討する。